教材番号 **17**

＜「親子で登る自立の坂道」期：「子が親離れしていく」編－２＞

対象（時間）：小学４～６年生の親（110分程度）

もしかしてイジメ！？　～誰でもその可能性があります～

【ねらい】いじめにつながるストレス要因について意見交換し，家庭の役割について考える。

【準備物】学習者：筆記用具

主催者：名札，ワークシート，アンケート用紙，椅子（人数分）

時間	アクティビティの展開	留　意　点	備　考
：	○名札付け（来た順に）	○全員が名札をつける。（ニックネーム可） ○男女混合が良いのか，男女別が良いのかは，あらかじめ決めておく。	※スケジュールを板書しておく。 ・机は講義形式
： （5分）	○ファシリテーター（学習支援者） 自己紹介，主旨・ルール等説明	○和やかな雰囲気づくりに配慮する。 ○写真を撮る場合は，予め了解を取る。（肖像権）	
： （20分）	**アイスブレイク（雰囲気づくり）** ①バースデーチェーン ・黙ったまま，身振り手振りで並び替え。 ②「否定・肯定」 ・前から二人組みになり，まず自己紹介。 ・一方が1分間話しかけ，他方は「否定的なイヤ～な態度」（腕組み，貧乏ゆすり，きょろきょろ，相手の目を見ない，後ろを向く，携帯電話をつつくなど）でまじめに聞かない。 ・交代して同じことをする。 ・次に，やはり1分間話しかけ，今度は「肯定的ないい態度」（うなずく，相槌を打つ，相手の言葉を繰り返すなど）で一生懸命に聞く。 ・交代して同じことをする。 ※前から番号をかけ，グループ分け	○コミュニケーションに関わるゲームを通して，人間関係作りに大切なことを体験的に考える。 →「○月○日生まれの○○です」と，簡単に自己紹介 →30秒前，10秒前にアナウンスを入れる。 →同じ１分だが，どちらの時間が短く感じられたかを尋ねる。	・机を撤去 ・グループ数に応じて，机を配置
： （10分）	**＜ゆっくり読みましょう＞** ○新聞記事（P2）をゆっくり読みます。	○音読しながら適宜分かりやすく言い換え，「いじめの原因の一つはストレスであり，ゆえに誰もが無関係ではない」という考え方（研究成果）を理解してもらう。	
： （40分）	**＜考えましょう，出し合いましょう＞** ○ゆっくりP3の記入（1問5分） ○グループで出し合う。（25分）	○いじめ（ストレスによる人間関係への悪影響）は「自分も無関係ではない」ということを考えてもらう。 ○三つの約束（発言の平等，人の発言を肯定，秘密の保守），ただし，言いたくないことは発表しなくてもよい。（パス有り）	
： （15分）	**＜さらに考えましょう＞を読む。**	→これをもとに，グループまたは全体で意見交流を行う。 ○家庭というものの機能（ストレスを解消する癒しの場）を再確認してもらう。 ※時間があれば☆，県民の声も読む。（県民の声は必ずしも「模範解答」ではなく，いろんな意見があるということを示すためのもの）	
： （15分）	**＜学習を振り返りましょう＞** ○ワークシートへの記入 ○ファシリテーターの話	○「いじめという問題を，『個人の資質』ではなく『ストレス量との関係』からとらえ直した研究結果である」という観点に立ち，「いじめと自分自身との関係について，当事者として考えるのが趣旨」であって，「個々のいじめの事象とその解決方法を模索する趣旨ではない」ことを，分かりやすく十分に説明する。	
： （5分）	○終了・片付け ○アンケート記入	→参加者全員で行う。 →アンケート記入者から流れ解散	・現状復帰

〈メモ〉